



救いにきたぽよ！

見習い観音が教える般若心
経

色野そらら

こんにちはぽよ

迷える衆生のみなさん～。やっほー。



天の国からやってきた、観音見習いのかのんだのーん♪

かのんはねー、
将来、立派な観音様になるために、修業中なんだぽよー♪

普段はねー、
阿弥陀如来（あみだによらい）せんせーとか、
あと、
いろんなね、菩薩（ぼさつ）のセンパイから学んだりしてるんだぽよー♪

今回は、
「地上実習」で、
ほとけの先生から、「般若心経」について教えて、
迷える魂をちょっと救って来いって、言われたのん♪

え？

観音って何？

菩薩とか、如来って何かって？

．．．

漢字が難しくて、かのんにも、ちょっとわかんないのん．．．

えと、何だったっけのん．．．

あ、詳しくは次のページから！

がんばりますのん！

よろしくぼよ！

仏説ッッ！

「般若心経」の解説にはいるぽよー。

手元に、テキストはあるかな？

え？持ってない？

読んだことも見たこともない？

じゃあ、貼り付けますね。

漢字ばかりで、最初は難しいと思いますけれども、
いずれ、読むときがきますから、覚えておいてのん♪

佛説摩訶般若波羅蜜多心經
觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五蘊皆空
度一切苦厄舍利子色不異空空不異色色即是空
空即是色受想行識亦復如是舍利子是諸法空相
不生不滅不垢不淨不增不減是故空中無色無受
想行識無眼耳鼻舌身意無色聲香味觸法無眼界
乃至無意識界無明亦無無明盡乃至無老死亦
無老死盡無苦集滅道無智亦無得無所得故苦
提薩埵依般若波羅蜜多故心無罣礙無罣礙故無
有恐怖遠離一切顛倒夢想究竟涅槃三世諸佛依
般若波羅蜜多故得阿耨多羅三藐三菩提故知般若
波羅蜜多是大神咒是大明咒是無上咒是無等
等咒能除一切苦眞實不虛故說般若波羅蜜多咒
即說咒曰
揭諦揭諦波羅揭諦波羅僧揭諦菩提薩婆訶
般若心經

動画だと、

[般若心経ポップ](#)

みくちゃんのあげてるこれがおすすめです（笑）

では、解説にはいるぽよー。

タイトルの「伝説」というのは、

よーするにッ、

漢字のとおり

ほとけさまの説くッ

そういう

おしえ！

なのですッ！！！！

え？

ほとけって何ですかって・・・？

どこにいるんですかって・・・？

えーと。

えーと。

それがわかるのが

きっと、

このお経なんです。

きっと。

では、つづきいくぽよ。

汗

汗

(ひーん、もう仏界に帰りたい・・・だいじょうぶかな)

あのね、

いっとくぼよね、

下界散歩してる時に、見るんだのん。

たくさんの人がね、意味わかんないままで、お経あげてるのん？

「どこかありがたい」とか

「ほとけさま、亡くなった人の栄養になる」といってのん。

んー。

それはありがたいんだけどものん。

「ありがたい」とか「心」の部分は、
こっちにも伝わってくるのんけれど、

どうせなら、ちゃんと、意味わかってたほうがいいぼよね。

実は、

というか、

あたりまえのことなんだけれども、

お経は一、

かのんらの世界の如来先生や、菩薩先生が、
あなたたち人間のために教えたことだからぼよね？

あなたたちが、かのんらの教えたこと、そのまま復唱されても、
こっちとしては、びみょーなきもちになるのん。

「摩訶」

というんは、

ふしぎーなすごーい

うちゅうのことなのん。

つまり、うちらのおる世界のことね。

ああー、もううまくいえないのん。ぐすっ。

あなたたち人間がね、目や耳や体で経験して記憶してきたこととか、頭で考えたり、
自分で思っている以上の
そういうすっごーいせかいがあるんだよ？

って、信じてないでしょ？

般若波羅蜜多ツ（はんにゃはらみた）

でね、

そういう、

五感と、思考とか、
人間の枠を超えた世界をどうやって知ればよかったっていうと、

かのんが「説明」しても無理（笑）

考えても考えても、

「その気になる」ことはできるけれども、

あなたが体験したことにならないよのん。

うちは、

あなた自身が、心で感じる事が大切やおもものん。

星の王子様で、

「大切なものは目に見えないんだよ」

っていう有名な言葉があるよね。

ブルース・リーだって、

「Don't think.Feel」

考えるんじゃない。感じろ。

そういつてるよね。

(かのんは、不動明王先生から体育の授業でブルースリーの映画を見せてもらったのだ。)

そういう、

心のこと、

もっといえば、

こころの奥底に繋がってる「たましい」の感覚

潜在意識ともいう。

阿頼耶識ともいう。

ちなみにかのんの住所は、阿頼耶識界の新屋敷（あらやしき）です♪（笑）

いつでもおるけん、遊びに来てね♪

なんちゃって。

それを、

「パンニャーパラミター」

漢字にすると、「般若波羅蜜多」と読むのねん。

ぶえ——

むずかしいこといったかにゃー

はわわー。

「心」

というのは、

こころ

というよりも、

もっといえば、

中心。

つまり、

あなたの真ん中にあるものはなんですか？

そして、その「真ん中にあるもの」「中心にあるもの」は
人間や生命や地球や宇宙の真ん中にあるものとおんなじなんだよ、

ってことねん。

ふー・・・すこし、慣れてきたのん。

準備はよいかい？

ついてくるのん。

「経」というのは、

お経の文字だけれども、

「経線」とか、いうよね。

掘り下げていくと、ずっと、どこに行っても繋がってるのねん。

いつでもどこでもだれにでも、あてはまるのん。

幸せになりたいっておもったら、

まず、

自分の幸せを大切に。

自分の根っこの部分を確かめながら、ね。

でも、

自分だけの幸せだけじゃなくて、

まわりの人や、

世の中や、

この国や、

世界や、

あらゆる生き物にとって、

大切なことをする。

すると、

あなたの心や魂の根っこは「経」になって、

宇宙全体とつながっていくようになるのん。

想像してみてください。

あなたもしあわせ。

みんなもしあわせ。

考えただけで、うれしくて仕方がないよね。

あなたにはそれを実行する力があるのよん！！！！

きゃ—————♪

がんばれっ！！！！

あなたたちのいる世の中で、

一番大切なのは、

お金！！！！

身分！！！！

名声！！

凄く大切です！

なければ生きることはできないよねん。

かのんは、いま肉体持ってないから、知らんけど（笑）

でも、

死んだらすべて、捨ててこなきゃだめですよ～♪

捨てられなかったら～？

かのんたちのいる素敵でうれしい毎日がうれしい世界には来られないよー（泣）

学校で一番大切なものがある。

会社や仕事で一番大切なものがある。

世の中で一番大切なものがある。

では、

「人生」で一番大切なものは???

あなたはそれに気が付いている？

あなたはそれを手にしている？

「人生」で一番大切なものは、
ほかの「見える具体的な形を持った何か」ではいくら立派なものでも、
替わることはできないんだよね・・・。

だから、

地上に肉体を持つと、

みんなみんな、形のあるものしかみえなくて、
かのんたちのいる世界のことを忘れてしまうんだ。

うちらが、一生懸命伝えても届かない。

ぐすん。

かのんたちが、「経」の教えを、地上にいるひとたちに伝えるのは、
本当に難しいことなんだ・・・。

かなしいー。

うわーん。

なので、

肉体や形をもった、
あなたが、お友達にこのおはなしを伝えてくれると、うれしいのん♪

かのんたちや、
うちの世界のせんせいたちもめっちゃ助かるのん♪

それで、

助けてくれた人には、

ご
ほ
う
び

あげちゃうのん♪

きみら、地上の人間は、
心や魂で感じたりすることが、ちょっと苦手。

こっちからみよったら、
友達と喧嘩したとか、
恋人とうまくいかないふられたとか、
せんせいが怖いとかうざいとか、
後輩がいうことをきいてくれないとか、
お金がないとか、

次から次へと、

腹が立つとか、
あれせなこれせな
あれがやだこれがやだ

から、逃れられなくて、

そういうので心のくもりをつくって、

「心の眼を開くこと」

がほんまにむずいのん。

それどころやないみたいやのん。

でも、

そういう地上でも、

「心を磨いて幸せの道をもとめるぞー」

って、がんばって修業して心の世界をわかっていう人がちゃんとおるのん♪

はじめは、

あっちいってぶつかり、
こっちいってぶつかり、

もうやめよう

ってなったりもした。

「人はなんでこんな意味のない人生を生きとるんじゃあああああ。」

「幸せなんて嘘じゃあああああああ」

「生きてる限り不幸じゃああああああ！」

「世界は平和にならん！
人間なんて全員、傷つけ傷つけられるを繰り返しながら完全に幸せになれないまま、
何もわからんまま死んでいくんじゃ～！

じんせいなんてふあああああああああつく！！！」

て本気で思って叫んでたのん（笑）

でも、

あっちいたりこっちいたり、
しているうちに、

なんかわかってきたのん（笑）

なんかこれは、

しあわせになれる方法があるんやないかってね。

幸せになれないのは、

なんかがまちがいゆうのん。

そうゆうことがわかってきたのん。

いろいろやってみたのん。

でー、

さいごにねー

はっきりわかったのん。

静かに、

心の奥底で

心の目と耳とを澄まして、

体の深いところで息づいている

そういう音のない声があふれるのんをきいたのん。

そのメッセージは、愛にみちあふれとったんよー♪

みんなはさー、

頭の中で、どういうこと考えてる？

「現実」ってなんだと思ってる？

「人生は、思い通りに行かない。」

「人生は不幸だ。」

「夢なんて持っても仕方がない。」

「隣の国はどういう国だ。」

「あの学者は世界をこうとらえているが、別の学者は違うことを言っている。」

いったい何が本当というんだあ？

普段の生活では、

以前にあったいいこと、

嫌なこと。

これからさき、何が起こるか。

不安、

期待。

「お金がある」とか、

「嫌なやつがいる」とか、

「雨の日はいやだ」とか、

「学校はおもしろい」とかね。

それに、人間関係って、すごく大きいとおもうのん。

自分に好意を持ってくれるきれいな人を見ていい気分になったり、

自分の悪口をいう人のことを思い出しては、怒りに駆られたり。

それに、

社会的地位とか、

他人からどう評価されるとか。

きりがないのねん。

きみたちの、「アタマ」はなにを「現実」と認識してるのかな？

よし！

ちょっとおまいら、

かのんのいる世界にきてみる！！

.....

ここは、宇宙だのん！

おまいは、宇宙全体になったんだのん！

宇宙は大きすぎて、空間や時間ではかれないんだぼよ。

もっともっと小さくしていくと、宇宙を構成しているものは、物質ですらなくなるんだぼよ。

物質じゃない、光とか、粒子とかが、なぜかしらんけど物質をつくってるんだぼよ。

そのちいさいちいさい物質じゃないことばであらわせないなにかも、
むろん、空間や時間の枠組みを超えているんだのん。

ほれみるぼよ！

おまいのなかで宇宙の片隅に太陽が生まれたのん。

太陽からちょうどいい距離のところに地球が生まれたのん。

なぜかしらんけど、距離が近すぎても遠くてもだめだったのん。

地球の中で、なんかごちゃごちゃあって、生物がうまれたのん。

生物が、なんかごちゃごちゃあって、人間がうまれたのん。

人間が、なんかごちゃごちゃやって、おまいというひとりの人間が生まれたのん。

どないだぼよ？

おまいが感じている「現実」なんて、宇宙全体の「現実」から見たら、砂粒にも満たないちいさなものなんだぼよ。

で、おまいはな一

おまいの一部なんだぼよ！

．．．

わけわかんない？

つまりだ一

宇宙の一部が、

小さな小さな、おまいのアタマとか、カラダになって、
「小さな世界」を感じさせてるわけなんだぼよ。

で、「おまい」、アタマとカラダとしての宇宙の一部は、

せいぜい、空間と時間と論理と感情と言葉

とかいった 「限られた範囲内」でしか、「世界」を見ることはできないんだのん。

そのね、

アタマは、宇宙の一部の世界に「意味」ってものをつけて、お互いに生活してるんだ。

それを、おまいらは、「現実」って呼んでるにすぎないんだぽよ。

あのな一。

おまいらの生きてる
現実って、
世界って、
いろいろ、あるのん。

生まれてしまった限りは、死ななきゃいかんのん。

いつまでも若くはいられないのん。
うつとか、癌とか、事故とか、大変なことあるのん。

大変なのん。

裏切りはあるのん。

クソ嫌なやろ一は、眼の前からきえないのん。

悩みは消えないのん。

それをどうすることもできないのん。

それだけみたら絶望なのん。

なくななくな。

よしよしのん。

でも、大丈夫なのん。

心配しないでいいのん。

海を思い浮かべてみるぽよ。

表面には波が立つのん。

波が、できては消え、できては消えするのん。

それが、目に見える世界なのん。

けれど、波のしたでは、

ずっと変わらない大海が横たわっておるのん。

おまいの、命の本体は、
波じゃなくて、海なのん。

宇宙全体が、おまいのほんとうの命なのん。

それを知ったら、どんなことがあったって、へっちゃらなのん。

だって、おまいは、

宇宙に愛されてるかけがえのない存在なんなのん。

かのんがねー、

しゃべってるのはね、

どっかの誰かに対してじゃないのん。

おまいだ！おまい！

賢いだろ！おまい！

他人事だと思って、横から、評価されても困るのん。

結論から言います！

かのんは、

あなたのことが、

好きです。

大好きです！

愛してます！

つきあってください！！

おまいが、呼んだらなー、

かのんは呼ぶ前にでも、すぐに駆けつけるんだぽよ！

そして、おまいの魂の中に入って、おまいをはげますんだぽよ！

恋人からのラブレターだ！メッセージだ！

かのんも、一生懸命愛を伝えるんだぽよ。

おまいはなー、

幸せにならなきゃいけないんだぽよ！！

受け取ってほしいんだぽよ。

かのんが、愛してるから、おまいは、どんなにつらいことがあっても、幸せなんだ。

きゃー！！！！

でなのん。

おまいらの、アタマとカラダの世界は、
宇宙とは別々だと、
おまいは考えるかもしれないんだぽよ。

おまい、「宇宙」ってきくと、
宇宙空間とか、銀河系とか、そういうとてつもないこと考えちゃうだろー。

まあ、それでも間違いではないのん。

でもね、かのんがってるのは、それだけではないのん。

「神羅万象」ってことなのん。

「あるものすべて」ってことなのん。

「目に見えない世界」、

かのんらのいる、「潜在意識」「無意識」の世界のことなのん。

まあ、おまいらのカラダに収まったアタマのなかの言葉とか考えでは、とらえるのは無理な世界のことなのん。

たとえばなのん。

おまいをつくったのは、

数ミリに満たないような精と卵の結合で、それがどんどん細胞分裂しておおきくなって、
つくりあげるようにしむけた、潜在意識があるのん。

その潜在意識のうえにのっかてるのが、おまいの「自分」とゆー意識なのん。

遺伝子といってもいいんだのんけれど、その遺伝子をつくった「宇宙」があるのん。

宇宙のプログラムがあるのん。

おまいの、アタマとカラダの世界と、宇宙は、
別々でなくて、重なり合ってるんだぼよ。

さっきのたとえじゃないけれど、

波と、水は別々かという、そうでもないんだぼよ。

水があるということは波があるということなのだぼよ。
波があるということは水があるということなのだぼよ。

同じように、世界と宇宙はちがうものじゃないんだぼよ。

世界があるということは、その根底に宇宙があるということなのだぼよ。
宇宙があるということは、世界が生じては滅し続けるということなのだぼよ。

宇宙の表面に、おまいらの生きてる世界があるんだぼよ。

世界を支えているのは、おおきなおおきな宇宙なんだぼよ。

色即是空ッ 空即是色ッ

波と水のたとえを言ったのん。

それを、世界の中のあるものにたとえてみるのん。

たとえば、
花。

種から、芽が出て、
芽が、成長して、花を咲かせて、
花が散って、枯れていくのん。

たとえば、
国。

国が起こって、
栄えて、混乱して、
クーデタが起こって、滅びて、取って代わられるのん。

たとえば、
人。

生まれて、成長して、
老いて、死んでいくのん。

たとえば、
人間関係や組織。

出会いがあり、友情が生まれ、
関係が変わり、解散していくのん。

たとえば、
漫画の連載。

連載が開始して、人気上がり、
人気下がり、打ち切りになるのん。

この、法則に当てはまらない世界のものを何かあげてみるんだぼよー。

あげられるかい？

あげられないでしょーん。

世界のなかにある「何か」を絶対視しちゃいけないんだぼよ。

そうしたら、ほぼ、裏切られて絶望するんだぼよ（笑）

でも、ふしぎなのん。

花にしろ、国にしろ、人にしろ、組織にしろ、

それを、構成している「人」や「細胞」は、
どんどん入れ替わって、ある時期が来ると、ごっそりすべて入れ替わるのに、
なぜか、おなじ「名前」で残ってるのん。

そして、これもふしぎなのん。

落っこちている、花びらと、茎と、葉っぱを寄せ集めてきても、
それを「さくら」とか、「たんぽぽ」とかいいないんだぽよ。

そこらへんから、てきとうに人を集めてきて、

「おまいら、イギリス！」

「おまいら、ソニー！」

といっても、イギリスとか、ソニーにはならないんだぽよ。

紙に、インクをぶちまけて、

「これ、ドラゴンボール！」

だって、あの漫画もインクと紙でできているからおなじでしょう。」

といっても、あきらかに詐欺なんだぽよ。

部分の寄せ集めを、

「全体」として機能させてまとめている「意味」がないと、

花は花ではないし、

イギリスは、イギリスではないんだぽよ。

．．．．ふしぎじゃないぽよか？

ふしぎがるんだのん！！

ためしに、おまい、

おまいの心の中になにがあって、

なにが、おまいを動かしているのか、じっと見つめてみるんだぼよ。

おまいらの、脳の細胞は、

何億個もの神経細胞があって、

全部つなげると、100万キロにもなるみたいなんだぼよ。

ほんとーに小宇宙なんだぼよ。

その、小宇宙が大宇宙に触れて、「世界」を認識してるんだのん。

おまいの心は、

いつも、動いているのん。

考え続けているのん。

想いが生まれつづけているのん。

ある想いを抱き、それにとどまろうと思っても、

数時間したら、その感情や思いはまた変わっている。

ひとつの思いにとどまることは本当に難しいのん。

いや、できないのん。

おまいのアタマとカラダには、

「～したい」ってゆー、「欲求」があたえられているのん。

その、欲求のおおまかなことは、

「知りたい」

「他人とながりたい」

「自分を保存したい」

ということなのん。

その欲求に、アタマがひっつけた「意味」が、うまく組み合わせあって、世界というものは成り立っているのん。

欲求は、
雑草や、波のように生まれてくるもので、
押さえることはどうしてもできないのん。

喜んだとおもったら、悲しむのん。

お風呂に入って極楽と思って、30分浸かってたら地獄だのん。

クーラーが利いた部屋に入った時は天国だけど、冷えすぎると耐えられないのん。

兄弟がいる家庭がうらやましい一人っ子に、
一人っ子がうらやましい兄弟がいる子がいるのん。

おまいは、欲求に振り回されて、一つのところにとどまり続けることができないのん。

そうゆうのがとめどもなく生まれては消え生まれては消え、
ごっちゃごっちゃにからみあわさっちゃったら、世界は混沌に見えるかもしれないのん。

でも、本当は違うのん。

宇宙自体は、おどろくべきほど、シンプルな極地。

ただ、「ある」「生きている」。

それだけ。

あらゆる意味をつけることは、

自分の欲求によってのもの。

決して絶対ではないのん。

宇宙から見たら、

世界の中で生きている、あらゆるものは、絶対ではないのん。

おまいら人間は全員「ノウミソ」とゆ一色眼鏡をかけているのん。

自分は絶対でないし、相手も絶対でない

ただ、本当の見方をできるんは、宇宙だけなのん。

ひとつかのんからいえることがあるんだぼよ。

おおらかでええんやのん。

こだわらんでええんだぼよ。

世界に絶対なんてものはないのん、
おまいは、おまいのただしさを大切にしていんだぽよ。
けれど、こだわったりしがみついたりする必要はないんだぽよ。

ひとのただしさに引っ張られる必要もないんだぽよ。
でも、全否定したり、拒絶する必要もないんだぽよ。

そうやって、こだわりをすてていくにつれて、おまいは宇宙につながってくるのがわかるのん。

ほら、おまい、

楽なきもちになってきたろ。

あたたかいきもちになってきたろ。

かのんのうでのなかにとびこんでいいんだぽよ。

おまいだけにはゆるすのん！

ぎゅー！

さあ、これからおまいはかのんと宇宙ででえとするのだのん！

是諸法空相 不生不滅 不垢不淨 不增不減 是故空中ッ

すべてのものはうつりかわっていくってことがわかったのんね？

それもこれも、みーんなみーんな、不動の宇宙のエネルギー、愛のエネルギーのなかにあるのん。

おおきなおおきな、「いのちのエネルギー」、

それが、空。

それが、ほとけ。

それが、神。

それが、宇宙（そら）。

宇宙のいのちのエネルギーが、

仏様としてあらわれたり、

天使として現れたり、

花になったり、

石になったり、

川になったり、

人間になったり、

犬になったり、

手足になったり、

みーんなみーんな、「おやくそく」にもとづいて、なりたってるんだぽよ。

そのおやくそくに基づいて、

すべてのものは、

おまいさんの見ている世界のなかで、

生まれたり、変化したり、死んだり、していく。

たとえば、あなたの友達を思い浮かべて。

生まれたと思ったら、
成長して、
いろんな経験をして、
人と交わって、
笑ったり、泣いたり、怒ったり、
心を曇らせたり、反省したり、
背丈や体重が伸びたり、
太ったり、痩せたり、
汚くなったり、きれいになったり、
そんな変化を繰り返しながら、やがて、この世からいなくなっちゃうのんね。

それが、生きているってこと。

この世界にあるってことなのん。

すべての人は、生まれたからには、また土に戻っていかなければならないのん。

おまいさんは、かのんにきくかもしれない。

「どうせ、死んでしまい、いなくなってしまうのに、なんで生きていかなくちゃならないんですか。」ってね。

ここまでかのんのおはなしをきいてきた賢いおまいさんならきっと悟ることができるとおもうぽよ。

かのんからは、いわないよん。考えてみてね。

それは、あなたの世界から見たら、

生きるとか、死ぬとか、
きれいとか、きたないとか、
すごいとか、劣っているとか、

多いとか、少ないとか、
長いとか、短いとか、
大きいとか、小さいとか

なにかほかのことに比べて比較したうえでの、
価値判断でしかないのん。

でも、もうわかったとおもうけれども、
大宇宙の「いのち」からみてみて。

湖の上に波が立つけれども、また静まっては、たつてをくりかえしていくけれども、
同じ、水のあらわれだよ。

空、
宇宙のいのちの眼から見れば、
みーんなみーんな、
「いのち」「宇宙」の一部のあらわれなのん。

だから、すべてのいのちは平等のん。

王様も、兵士も、平民も、

総理大臣も、社長さんも、社員も、学生も、職のない人も、子どもも、赤ん坊も、

宇宙からみたら、その「いのち」は、おなじ神の子として平等のん。

ちがうのは、与えられた役割や立場にしかすぎないのん。

世界には、どうしても格差は必要かもしれないぽよ。

適材適所。

宇宙から見て、すべての生命には、それぞれ行くべき役割があるのん。

でも、生命の尊さは、

だから、奪い合いではなく、分かち合いと支えあいの社会を作ろうとする義務があるのん。
物質的なものだけでなく、こころとたましいも分かち合わなければならないのん。

だから、王族の人は、決して奴隷や平民の身分の人を見下したりしてはならないんだのん。ひがみにもつきあってはならないんだのん。

身分の下の人を嘲笑っていると、おまい自身もいずれその嘲笑った身分におちるのん。

身分の下の人のために祈り、皆の幸せを真剣に考えることで、おまいの心も財産もますます富んでいくのん。

奴隷の身分の人は、決して王族や貴族階級の人たちをひがんだりしちゃいけないんだのん。

身分の上の人に対して恨みを抱いていると、もっともっとおまいらにたいして取り立ては厳しくなるのん。

身分の上の人、同じ身分の人に対しても祈り、自分も含め皆の幸せを真剣に考え、貴族に対して祝福を送っていると、いずれおまい自身もその身分になってるのん。

見えてる世界、

形ある世界に、

あなたの心は常々引っ付いてると思うのん。

だけど、とらわれないでいいんだのん。

動いたり、目や耳や皮膚で感じて、

「のうみそ」にひっついた「多数派の心」がそうだと信じているものにあなたの心も引っ張られているのん。

だけど、とらわれちゃいけないのん。

「擬態」って知ってる？

虫が植物に化けたり、動物が死んだように見せて、見る人をあざむくのん。

あなたに見えている世界は、「宇宙」の擬態した姿だとおもってのん。

本当に、お金持ちは、お金をもってないものより、豊かなのかな？

目の見えないひとや、耳の聞こえない人は、本当に何も見えてないと思うの？

何も聞こえていないと思うの？

自閉症で、言葉も話せない人、に心がなくて思っている？

言葉のわからない赤ちゃんに、愛の言葉が分からないと思ってる？

病気で働けない人は、役立たずなの？

花や虫や鳥が、かなしんだりよろこんだりしないと思ってる？

あなたの、こころの奥底のいのちの声をきいて。

言葉じゃないことばをきいて。

目で見えないものをみて。

目じゃないとこ、耳じゃないところで、
みて、きかなければ、
あなたのたましいは、たいせつなことをすぐにキャッチできないよ。

あなたが、

目で見ている世界
耳で聞いている世界
鼻で嗅いでいる世界
舌で味わっている世界
体で触れている世界

みんなみんな、宇宙のあらわれた、仮の姿なのん。

おまいさんの感覚器官は、あるようできて、ない。
すべて、宇宙の生命の一部分。

わかった？

おまいさんが、いのちを持っているんじゃないのん。

宇宙の「いのち」が、おまいさんをもって、
宇宙の「いのち」が、今、おまいさんというかたちをもって生きているのん。

ほんとうのことは、

おまいさんのところのおくのおくにあるよ。

それを、おまいさんはたしかに知っている。

その秘密と、その喜びの世界に今から、あんないしていくぽよ。

かのんの衣のすそにしっかりつかまってるぽよ。

なぬ？

むねのうえにのっけてほしいだっ！？

おぬしもすきよのーう。

．．．あとでね～

ごらん、

おまいさんの魂にはみえるかい？

この

宇宙の大生命の大きな大きな海が？

大きな大きな太陽が。

ほらごらん。

苦しみも、悲しみも、ないんだぽよ。

わかるかい？

いじわるも、

いじめも、

戦争も、

搾取も、

おそれも、

暴力も、

みんなみんな、肉体にもとづくむなしい影だってことにきがついた??

さあ、おまいのたましいよ、

まぶしすぎてわからない？

でも、しっかり眼をみひらくのだぽよ。

愛が無限にあふれて満たされているんだのん。

うれしさが無限にあふれてみたされているんだのん。

よろこびが無限にあふれてみたされているんだのん。

慈悲が無限にあふれてみたされているのん。

感謝が無限にあふれてみたされているのん。

知恵が無限にあふれてみたされているのん。

いのちが無限にあふれてみたされているのん。

それが、いのちの声なのん。

こころの声なのん。

おまいのたましいは、ここから、世界にやってきたのん。

この、あふれる愛と光といのちの海と太陽が、
ほんとうの「おまいさん」なんだよ。

おまいさんは、「じぶん」をもっていて、
「じぶん」は、からだをもって、そのからだは、お金をもったり、家をもったり、友達をもったり、子どもをもったり、土地をもったり、車をもったり、名誉をもったり、才能をもったり、能力をもっていたりしている、

そう思いこんでいたのん。

でも、
この宇宙のいのちが、おまえにいのちも、からだもみんなつくって、貸してあげてるのん。

言葉や暴力で傷つけられたり、
奪われたりすると、
やっぱり、苦しいし、悲しいし、許せなくなるのんね。
かのんも、そのきもちわかるぽよ。

「おまいさん」も、大切な、この宇宙のいのちの一部なんだから、
それを傷つけられたら、魂は痛むよね。

でも、それをつかんで離さないで、
それを他人から奪おうとすると、
余計に、「おまいのもの」は減っていくよ。
いや、重くなって、身動きが取れなくなるぽよ。

「自分のもの」「自分のもの」って、欲張りすぎると、
お得なようできて、実は、大損なんだぽよ。

宇宙のいのちが、おまいにかしてくれてる価値をちょっと計算してみたのん。

.....

.....

きいておどろくなよー。

控えめにみつもって、

100兆円。

ぶわっはっはっはっはっは！！！！

これまじなのん！！！！

大国の国家予算、十何年分がおまえさんたったひとりに貸出しされとるんだぽよ！！！！！！

おまいの、持っていたり、奪われたりしている財産。

これも計算してみたぼよ。

少なくても、100万円

多くて、一億円。

おまいさんは、これを大金と思うかい??

宇宙はおまいにこうってます。

「奪われたその百万円つかんで手放せないでいると、わたしは、あなたに100兆円あげられない。」

さあ、損得勘定で考えるだのん。

他人に奪われた百万円を返してくれるまで追い立てる方をとるか

他人の罪を一円残らずチャラにして、宇宙から100兆円を貸してもらおうか。

人生にたとえてみようかぼよ

たとえば、

あなたが、

両親が喧嘩ばかりする家庭に生まれ、
虐待を受けながら、勉強をさせられてきました。

学校では、友達もできず、
苛められ、先生も誰も助けてくれず、あなたを見捨てていきました。

苦勞して、就職したはいいですが、
同僚の嫌がらせはおろか、上司のパワハラを受けて、うつ病に。

ほかにも、全身に原因不明の病気ができて、入退院を繰り返すも、
生活保護すらもらえず、
世の中から差別されながら、
低賃金重労働で病気の症状にさいなまれながら、言い訳できず、
度重なる叱責にも耐えることができません。

何回も、悪徳業者に騙され、借金は数千万円にも上ります。

世間の人、みんなあなたを蔑み、唾を吐きかけ、嘲笑います。
そして、豪華な車に乗り、愛人を連れてきれいな家に住んで楽しそうにしています。
あなたは、そんな幸せの蚊帳の外です。
彼らのことを思うたびに、悔しさが込み上げてきて、叫ばずにはいられません。

何十人もの女に振られ、誰一人としてあなたを愛してはくれません。

人生をあきらめ、周りにいる弱そうなやつを見つけ、憂さ晴らしをする日々。
怒りや悔しさを収めようとしてももはやそれもできません。

善人ぶって、上から目線で正論を述べ、説教を垂れる人びとに「そんなことわかってるよ！ばかやろう！」と叫ぶと、「困ったやつだ。最悪な奴だ。」と逆に怒られてしまい孤立します。
あいつらもこいつらもどいつもこいつもクズです。そういつている自分が一番クズ。

毎日、酒と処方薬を大量に飲みながら、別世界に逃げ込んで「いつか死なないかな」とそればかり期待しています。

自分は、この世界において、生きている理由がなさそうだ。
この世界に救いはみあたらないようです。

なぜ生まれてきたのだろう。自分をこの世に送り出した神を呪い、宇宙も呪います。
自殺をしたいと思うのですが、死ぬ勇気もありません。
かといって、犯罪も犯せない。

いまや、何も幸せとは無縁のまま死を待つだけの人生になっています。

あなたは、親を呪い、人生を呪い、自分を傷つけた社会を許せず、
もはや立ち上がる気力もありません。
訴えて、復讐しないと気が済まない。けれども、悪いのは自分だという自覚もあります。

自分自身を責め、世界を責めて呪います。
そうして、自分が苦しくなることはわかっているのですが、
それ以外何も自分にはできないのです。

みんな死んでしまえ、
そして、自分も死ねばいいと思っていますが、
無差別殺人をして、ネットやテレビの笑いものになる勇気もない。

そして、それは永遠に満たされることもないですから、苦しみから逃れられることも不可能なわけです。

さあ、おまいは「八方ふさがり」になったぽよ！！

それくらいで、だいたい「一千万円奪われた」くらいと考えるぽよ。

でもねー、

宇宙の愛には限りがないから、
そんなおまいを助けることくらい、朝飯前のん。

もし、おまいが、奪われた「一千万円」をきれいすっきり一円残らず許すことができたなら、宇宙から、すばらしいギフトがくるのん。

不幸のどん底の人のお話の続きねー。

あなたがどんなに世間から見捨てられたように思っているても、
宇宙はあなたを見捨てません。

さばきもしないし、じっと、宇宙の喜びの海にたましいが戻ってくるのを耐え忍んでまってる
のねん。

たとえばなしをするのん。
ハンカチを用意するのん。

あるところに、父ちゃんがいました。

資産200兆円の大富豪です。愛あふれるやさしいお父さんです。

でも、息子のおまいは生意気にもいいました。

「おーい、おやじい。
おやじの100兆円貸してくれよ。つーか、ください。」

「ぶわー——！大金だな！それでおまえはどうするんだい。」

「新宿か渋谷に行って、商売やって遊びまわろうと思うんだ。」

「（・・・大丈夫か。どうせ失敗するだろうな。）
ま、よいでしょう。行って来い！ほら、100兆円。」

「いやっほー！！

100兆円もらったぜーい！らっきーくっきー！」

それをみていたおまいの兄貴は、思っていました。

「最悪な弟やお・・・。こっちは、お父さんのところで真面目にはたらいとるからええけど。」

「資本金30兆で、大会社つくるわ！」→あっという間に大赤字になって倒産。

「それじゃあ、株でもうけたるわ！」→暴落して泡に。

「競馬で3兆！」→馬が転倒、当たらず。

「賭けはだめだ、じゃあ毎日パーティーやろうぜ。東京ドームで。」→つまんねー、やめよ。

「飲み会やろ！毎日ドンペリあけて、いっきいっき！」

「姉ちゃん、金ならある！おれの女になれよ〜！」

こうして、

大量にあると思っていた100兆円は、

起業、ギャンブル、女、キャバクラ、に使って湯水のごとくことごとくあなたによって浪費してしまいました。

気が付いたら、あなたの残りの財産は、わずか数十万万円程度にまでになってしまいました。

「ま、えっか、遊べる金はあるし。」

そこに、ニュースで速報が入ってきました。

「ニューヨークで、世界で同時に巨大な恐慌が発生しました。」

会社は次々と倒産し、正社員はおろか、バイトも採用口がありません。

手持ちのお金も、数千円です。

羽振りのよかったころ、ちやほやしていた友人たちは手のひらをひっくり返して、

「お前のことなんか知るか。消えろ、ボケ！」と、水を投げかけます。

「なんだと、てめえ、このやろう！」と大喧嘩。
ぼこぼこにやられ、路上に投げ出されます。

あなたは、世の中の世知辛さを思い知ります。

不幸中の幸いで、ドヤ街に流れ着いて、慈善事業をしていた社長さんから、仕事を紹介されましたが、
日雇いで低賃金。

おまけに、ほかの人と大喧嘩をして、毎日酒を飲み、あなたは落ちるところまで落ちてしまいました。

「もうだめだ！もうだめだ！死にたい！死んだ方がましだ！」

あなたの脳裏に、父親のことが浮かびました。

「そういえば、おやじ、どうしてっかな。」

あなたは、はっと我に帰ります。

「おれって、極悪なドラ息子だよな……。おやじにたいしても、社会に対してもこれ以上ない迷惑をかけたと思う。オヤジは、おれのこと許してくれるだろうか……。
やっぱ、だめかな……。」

あなたは決意します。

「いや……。それでもいい。
もはや、おれはあの人の息子でなくていい。バイトでも奴隷でもいいから、戻ろう。」

と、あなたは、その街を出て、父の家に戻ろうとします。

そのとき、駅前で、おとうさんが、待ち構えていました。

ボロボロになったあなたの姿をとおくに見つけて、お父さんは、ダッシュであなたに駆けつけます。

改札前の広場で、おとうさんは、あなたを抱きしめるのです。

「よくかえってきたな。いままで辛かったな。」

あなたはびっくりしますが、お構いなしに、

その場で、たまっていたものがすべて吐き出されるように号泣してしまいます。

「ごめん、おやじ・・・いや、とうさん！

あなたの財産を使い果たしてしまいました。いまや、私はこんなみじめな姿です。

もう、私はあなたの子どもではありません。」

ホームレスの息子を、お父さんは、フェラーリにのせ、家に帰らせ、

会社をあげて、「息子帰還記念大パーティ」を開催しました。

副社長になっていた兄は、ドラ息子の姿を見て、パーティに出席せず、

「は？いや、お父さん、不公平っす！！私のほうが真面目にやっとならないですか！なんであんなやつのために宴会なんかやるんですか！プンプンまるっす！！」

お父さんは、いいました。

「おまえは、副社長だから、私の財産はあなたのもの。

しかしね、あの子は死んでたんだよ。私のもとから離れて、死んでいたんだよ。

けれども、生き返って、私のもとに戻ってきてくれた。

これほどうれしいことがあるかい？」

おしまい。

どうですか？

なけたでしょう。

かのんも話しながら号泣だったのん。

さっきお話した、おとうさんとおまいさんのお話は、
宇宙のいのちと、あなたのところ、たましいの関係にもあてはまるのん。

あなたには、宇宙から100兆円かしてもらってるのん。

けれど、あなたはそれを正しく使えないでいる。
でも、それも、宇宙（そら）はゆるしているのん。

他人から奪われた、100万円や、そこらの金にとらわれている。

そして、たましいは、宇宙（そら）から遠く遠く隔たって、
愛の消えた街で、
いつわりの幸せばかり求めて、満たされないで、
苦しんでるのん。

100兆円のこと、それをかしてくれている宇宙というお父さんのことをすっかり忘れて、

目に見える世界にとらわれているから、
宇宙からの百兆円の権利が受け取れないのん。

それで、

あなたは、自分ではどうしようもできないから、
世界の中にある「ほかのもの」ばかりに依存する。

助けてくれる人、
異性、
アルコール、
ドラッグ、

人を責め、
自分を責め、
目に見える誰かに自分を理解してほしい、愛してほしいって叫んでるのん。

でも、みんなみんなおまいをみたくすることはできないのん。

・・・逃げてるのん。

おまいは、逃げてるのん!!!



じぶん自身から逃げ、
宇宙の愛から逃げてるのん!!!!

なんで?

帰ったら、負けだっておもってるの?

自分には、もうその資格はないとおもってるの？

自分は汚いから、薄汚れて、罪を犯したから、
宇宙は自分を受け入れてくれないだろうか、
そんなことおもってるの??

なにを恐れてるの？

...

ばか!!!

そういうのを、宇宙的には、ばかっていうんだよ!!

難しい言葉で、顛倒夢想っていうのん!
勘違い野郎なのん。

それを地獄っていうのん!!!

あなたが、どんなに罪深くて、傷つけられて、ボロボロで死にそうになっても関係ない
のん!

戻ってくるのん!!!

資格なんていらない!
いのちあるかぎり、あなたには宇宙に戻る資格があるのん。

死にたくて、絶望している

今こそ、チャンスなのん!!!!

ほら、安心して。

宇宙は、どんなあなたも、

・・・絶対に人には見せられない汚れも、
癒して力づけてくださるんだだよ。

ありのままに、すべてを受け入れて生かしてくださるんだだよ。

宇宙のいのちから離れてさまよっていた、あなたは、死にかかっていたのん。

けれども、

宇宙のいのちにつながれば、あなたは再びほんとうのいのち、ほんとうの愛に生きるのん。

ほら、あんしんするのん。

無限なる愛の海

無限のよるこびの太陽が見えるでしょう。



心を開いてごらん

世界には、さまざまな矛盾や痛みがあって、
おまいさん自身も、弱さを抱えているかもしれない。

みんなみんな弱い存在なんだ。

そして、それでいいのん。

でも、それは、その弱さをいかして、

宇宙のいのちに、近づいていくために必要なことなのん。

宇宙は、なんでおまいさんに、
肉体を授けて、世界に送り込んだかっていうとね、

愛と光を学んでいくためののん。

すべての人の中には、

いや、
すべてのいきとしいけるものの中には、

この宇宙のいのち、愛のエネルギーが宿っているのん。

ほら、

あなたのなかにも、宇宙は宿っている。

あの人の中にも、宇宙は宿っている。

みんなみんな、宇宙を宿した、かけがえのない存在なんだって言うことを覚えておいてのん。

ひとは、

みんなやさしさと愛をもっている存在なのん。

それが何かの拍子に発揮できていないにすぎないのん。

もっともっと、

宇宙（そら）から発されたいのちのメッセージが、

世界に広がって、
たましいがそのふるさとを思い出して、

みんなひとつになれるといいのん。

故知 般若波羅蜜多 是大神呪 是大明呪 是無上呪 是無等等呪

あなたは、光の子

みんな、光の子

すべては、宇宙のいのちから生まれてきている。

わかったのん？

心の奥の奥では、きっとわかってるはず。

だったら、

心の奥の奥、
たましいの奥の奥

宇宙のいのちのひかりを

おまいさんは、

解き放つのん。

さあ、

おまいには、それができるんだ。

それを信じて、

ゆりうごかし、

目覚めさせるのん。

おまいには、
世界を変える力がある

本当なんだぼよ。

かのんが、保証する。

おまいの全身に愛と力が宿って、

みちみちておるはずなのん。

さあ、

心の扉を開け放つのん。

さあ、

おまいのなかのたましいは
宇宙（そら）の太陽に照らされて輝かしい光を放つのん。

おまいには、

じぶんでも思い浮かばなかったようなことばを発するようになる。

宇宙のいのちが、

おまいの口を借りて、

語っているのん。

宇宙のいのちが、

おまいのたましいを借りて、

多くの人を目覚めさせようとしてるのん。

そのことばは、

かならずや、

全世界を照らしていくのん。

信じて、
行動した時、

必ず、ふしぎなこと、

奇跡のようなことが、

起こってくるはずのん。

あなたは、宇宙のいのち、宇宙の光の力をうけて、
それに満たされているから。

宇宙のいのちも、
そこに住んでるかのんたちも、

肉体をもって、この世界にやってこれないから、

直接、声を人に伝えることはできないのん。

だから、

おまいの口をかり、
おまいの目をかり、
おまいの手をかり、

おまいに才能を与え、

伝えようとしているのん。

広めてほしいのん。

生命の光を、

たましいの輝きを

宇宙（そら）の声を。

能除一切苦 眞実不虛 故説 般若波羅蜜多呪 即説呪曰 ぎゃ諦ぎゃ諦波羅ぎゃ諦波
羅僧ぎゃてい菩提僧婆訶ああ。 般若心経ーーーッ。

人を不幸にするあらゆる原因。

戦争も、喧嘩も、

あらゆる不幸のおおもとはこれしかないのん。

愛が完全でないこと。

恐れ。

コンプレックス。

これを、

みんなみんな愛とよろこびと、感謝に変えていくことはできるのん。

かのんの伝えることは、

本当のん。

かならず、みんなを幸せにするのん。

もし、

すべての人が、
宇宙のいのちのことば、
かのんの伝えることを、

しっかり、心の目、魂の耳で理解して、
光と愛に触れることができれば、

みんなみんな「本当のことだったんだ」ってわかるのん。

宇宙のいのち

愛

この世界に生きるすべての人

生きとし生けるもの

すべてはひとつになるのん。

ことばをこえて。

ちがいをこえて。

みんなみんなひとつに結ばれる。

愛だけが本当のことだってわかるのん。

みんなみんなみんな

一人残らず、しあわせのん。

おまいに、そのすがたが想像できるかい？

想像してごらん。

現実になるからさ。

あと、何千年、何万年かかるかわからない。

弥勒菩薩様がやってくる56億7000万年後なのかもしれない。

それは、かのんもしらないのん。

ただ、かのんのパパである、宇宙（そら）だけがしってるのん。

さあ、

ここまで聞いたら、

いくのん。

さあ、

扉を開けるのん。

みんなでいくのん。

いきとしいけるもの、

みんなでこの川をわたるのん。

世界のすべては、

宇宙の命にむかい、

喜びの声をあげるのん。

いこういこう、

みんなでいこう

宇宙のいのちのところに。

完全な幸せ

完全な喜び

すべては完成するのん。

おわりっ！

ふうふう————。

これで、かのんからの
般若心経のレクチャーはおしまいです。

地上実習の課題も一息です。

どうでしたー？

レクチャーしながら、熱がこもって、こっちも泣いちゃったりしました。

ちなみに、
かのんの名前の「観音」は、
正式には、「観世音菩薩」とか、「観自在菩薩」というのねん。

「修業中のお釈迦様」
「潜在意識の扉が開いて、世界や宇宙の真理を分かった人」
しいては、
「衆生を救って彼岸に導く仏」になってきたのん。

溺れている人がいたら、「助けて」という声を聴くと同時に、
音を観て、ぱっと飛んでいき、救い出すのが、観音様なのん。

だから、あなたが発している音、つまり声って大切のん。
かのんらは、あなたの出す音の波動に応じて、宇宙からやってくるからね。
たとえば、8チャンネルのスイッチをリモコンで押して電波を出すと、8チャンネルが映るよ
うに。

「ついてる」って言ってたら、宇宙は本当にあなたにつきを運んでくるのん。

逆に、冗談でも悪い言葉をいっていると、宇宙は勘違いして、その発した人に地獄を見せるのん

。

だって、チャンネル押したのは自分自身にほかならないからのん。

わたしたちは、
慈悲や救済担当なのです。

男か女かはじつは不明のん。

かのんを女の子だとおもってたかー？

ま、それでもいいぽよ。

人の願いに応じて姿を変え、慈母や千手や十一面、さまざまな姿で人びとを助けられるということなのん。

かのんは、まだ見習いの観音で、
宇宙の中心にいる如来様やイエス様といわれる人たちから聞いたことを、
自分なりにまとめて、
色野そらさんの魂に入りこんで、お手伝いをしとるわけなのねん。

あなたがこの本を閉じたら、隠れてお仕事してます。

でも、
観音様は、宇宙に遍満していますから、
会おうと思えば、いつでもあえるのん。

かのんが伝えたこと、
意味をかみしめながら、
心の奥底に響かせるように、お祈りしてほしいのん。

呼べば、いつでも、おまいの心のおくそこにかのんはいて、しっかり力を貸すからね。